

MOMENTUM HD PREAMPLIFIER

OWNER'S MANUAL



Dan D'Agostino
MASTER AUDIO SYSTEMS

取扱説明書

はじめに

このたびは、"Dan D'Agostino"製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。

本取扱説明書には、本機の設置や操作についての重要な情報が含まれています。

本書を一通りお読みの上、設置や操作の詳細について充分にご理解いただき、正しくご使用の上、

末長くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

本機の特徴

"Dan D'Agostino" ブランドは、かつて自身の作品でクレルを興し 30 年の長きに亘ってハイエンドオーディオの最前線に携わってきた Daniel D'Agostino が、古巣を離れ自らの名を冠して 2009 年に立ち上げた気鋭のブランドです。

その衝撃のデビュー作となったモノラル・パワーアンプ" MOMENTUM Monoblock(M300)"は、さらにその後" M400"へとアップグレードされ、そのポテンシャルを不動のものとししました。続く姉妹機、ステレオパワーアンプ" M200"も、その成果によって" S250"へと進化を果たしました。

MOMENTUM シリーズ・パワーアンプの対となるプリアンプ" MOMENTUM PREAMPLIFIER"は 2013 年に登場。

そのユニークなデザインと有機的コンストラクションは、一種芸術品とも呼べるほどの存在感を醸し出しています。

ここにご紹介する MOMENTUM "HD" PREAMPLIFIER は、初代 MOMENTUM PREAMPLIFIER のそうした優れたデザイン・コンセプトを忠実に継承しながらも、内部回路には全面的に最新テクノロジーを投入。

それはまず、L/R が完全分離されセクションごとに分けられた 6 枚のオーディオ回路基板をはじめとし、ロジックコントロール回路、リモート送受信回路、そして電源ユニット内部の電源トランス、整流/レギュレーター回路にまで及ぶ 6 年ぶりとなる大規模なアップグレードです。

胸のすくような S/N 感と、俊敏で滲みのない広大なダイナミックスがもたらす圧倒的な情報量が、デリケートな音の温度感とリアリティー溢れる奥深い表現力をもたらし、音の息吹を鮮やかに甦らせることでしよう。



ご使用上の諸注意

本機の性能を十分に引き出し、また安全にご使用いただくため、以下の点にご注意ください。

- 火災や感電等の危険を避けるため、湿気が多い場所や水のかかる場所で本機を使用しないでください。
- 火災や感電等の危険を避けるため、本機のカバーを取り外さないでください。
内部にはお客様に調整していただく部品はありません。修理・点検等は専門の技術者におまかせください。
- 本機を、水のかかりやすい場所、湿気が多い場所で使用しないでください。
また水がかかった時は、すぐに電源コードをコンセントから抜いてください。
- 本機の内部にヘアピン等の異物が入りこまないよう、充分にご注意ください。
- 本機を、暖炉やストーブなど熱源の近く、あるいは熱を発生する機器の付近で使用しないでください。
- 本機を、直射日光の当る場所、あるいは低温になる場所で使用しないでください。
- リアパネルに表示された電源以外は使用しないでください。
また、電源は十分な容量を持つコンセントに接続してください。
- 本機のお手入れには、柔らかい布をご使用ください。
水やダストスプレー、溶剤、研磨剤、クリーニング剤等を直接シャーシーに付けることは避けてください。
- 接続は、本機および接続する機器の電源コードをすべて抜いてから始めてください。

[設置場所について]

- オーバーヒート防止のため、本機の両側、ならびに上方には通気を確保する空間を設けてください。



付属の電源コードの取扱いについて

本機に付属している電源コードは、本機専用のものです。他の機器にはご使用になれません。

開梱

梱包内容:

- ・プリアンプ本体
- ・アルミニウム・コーン・スパイク 4 個
- ・セパレートパワーサプライ
- ・パワーサプライ・コード
- ・AC 電源コード
- ・リモコン(単 4 乾電池 3 本内蔵)
- ・アンテナ
- ・マイクロファイバー・クリーニングクロス
- ・取扱説明書
- ・保証登録カード

●開梱の際は安全のため、最低二人以上で行なってください。また、本体にキズを付ける恐れがありますので、時計やプレスレット、ベルトなど金属類は外して作業を行なってください。

梱包の蓋を開けて、アンプを二人で平行に持ち上げ、そのまま平らな場所に降ろします。

●梱包材は、移動や修理などのために将来本機をご返送いただく際、輸送中の損傷等を防ぐために役立ちますので必ず保管しておいてください。

アッセンブリー

●本機はプリアンプ本体とパワーサプライ及び相互を繋ぐコード、本体のスパイクが分かれて梱包されています。開梱後は、これらを以下の手順でアッセンブリーします。

(これらの作業は必ず二人で行なってください)

1. 本体の底面が上になるよう天地を返して、柔らかい布などの上におきます。
2. アルミニウム・コーン・スパイク 4 個を底板四隅の所定のネジ穴にねじ込みます。
3. セパレートパワーサプライを設置場所に置きます。
4. パワーサプライの四隅の穴に、本体のアルミニウム・コーン・スパイクが位置するように、注意深く、ゆっくりと乗せます。



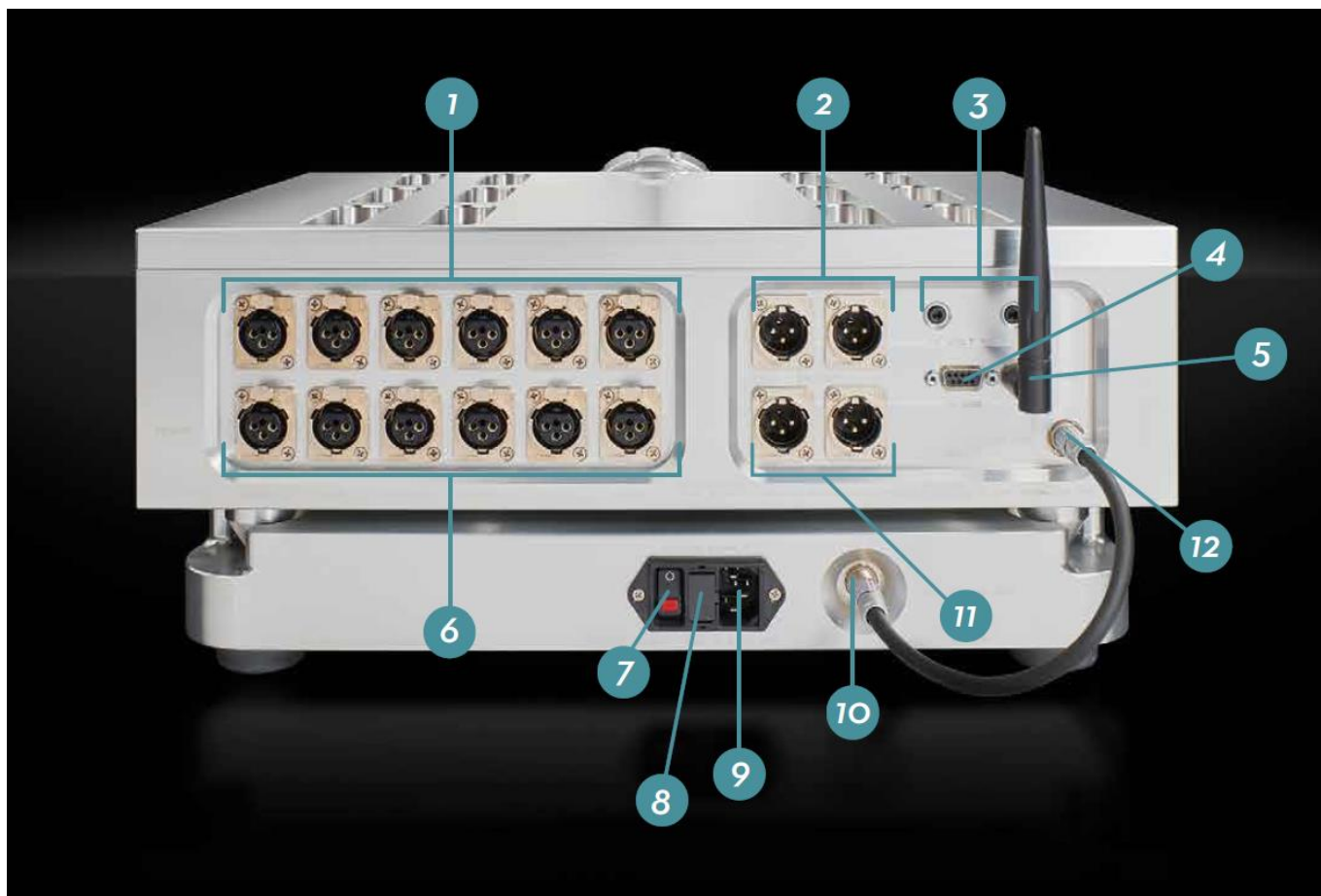
5. 本体とパワーサプライをパワーサプライ・コードで接続します。

以上でアッセンブリーは完了です。

次に、入力/出力など必要な接続を行ないます。(次ページ以降を参照)

■接続は、本機および接続する機器の電源をすべて切ってから始めてください。

リアーパネル&パワーサプライ各部の機能



- ① XLR バランス入力端子(L 側)6 系統
- ② XLR バランス出力端子(L 側)2 系統
- ③ 12Vトリガー出力
- ④ RS-232コントロール・コネクター
- ⑤ ブルートゥース・アンテナ
- ⑥ XLR バランス入力端子(R 側)6 系統
- ⑦ 主電源スイッチ
- ⑧ 電源コネクター(IEC インレット) / ヒューズホルダー (ヒューズタイプ:スローブロー2A・ミゼット型(5φ × 20mm 長))
- ⑨ IEC 3Pin AC100V 電源コネクター
- ⑩ パワーサプライ DC 電源出力
- ⑪ XLR バランス出力端子(R 側)2 系統
- ⑫ プリアンプ DC 電源入力

※XLR 極性: 1=G, 2=HOT, 3=COLD

接続のしかた

■接続は、本機および接続する機器の電源をすべて切ってから始めてください。

●入力: ソース機器の接続

・本機はステレオ 6 系統の XLR バランス入力を装備しています。

バランス(XLR 端子) のピン配列は以下の通りです。

- ・1 番ピン=シールド(グラウンド)
- ・2 番ピン=非反転入力(ホット)
- ・3 番ピン=反転入力(コールド)

・6 系統の内 5 系統(※)は、通常のラインレベルのソース機器(CD プレーヤーなど)のバランス出力を接続します。

(※ SERVER / DAC / RADIO / PHONO / DOCK とネーミングされた各入力端子及び入力セクター)

これらのネーミングは呼称としてのもので、5 系統はすべて同一のラインレベル入力です。

注意: PHONO ポジションもラインレベルの入力であって、フォノアンプは内蔵されていません。

・6 系統の内 [THEATER] 表示の 1 系統だけはサラウンドプロセッサの出力接続の専用となっています。

(この端子に繋いだ場合入力セクターで[THEATER]を選択すると本機の出カレベルは 0dB となり

ボリューム操作は受けません。ボリュームはプロセッサ側で操作します。)



注意: [THEATER]端子には CD プレーヤーや DAC など固定出カレベルの機器は接続しないでください。

過大音量でスピーカーを損傷させる恐れがあります。

・接続したいソース機器がバランス端子を持たない場合は、RCA-XLR 変換アダプターをご使用ください。

※変換アダプター: RCA (+) → XLR Pin2, RCA (-) → XLR Pin3 & Pin1

●出力: パワーアンプへの接続

・本機はステレオ 2 系統の XLR バランス出力を装備しています。

2 系統はパラレル出力です。いずれかを使いパワーアンプにバランス接続してください。

●パワーサプライと本体の DC 電源接続

・本体とパワーサプライを付属のパワーサプライ・コードで接続します。

●AC コードの接続

・AC コードの IEC コネクターをパワーサプライの電源コネクター(IEC インレット)に差し込み、プラグを電源容量の十分あるACコンセント(100V 50Hz/60Hz)に接続します。

●Bluetooth・アンテナの取り付け

Bluetooth・アンテナをリアパネルのアンテナ端子にねじ込み取り付け、90° 起こします。

●リモコンのペアリング

リモコンに電池が入っていて、Bluetooth・アンテナをリアパネルのアンテナ端子に取り付けられている状態で、本体に電源が入ると 10 秒後に自動的にリモコンとのペアリングが行なわれ、リモコン操作が可能となります。

もし、ペアリングが外れた場合は、手動で再ペアリングができます。

再ペアリングは、リモコンの SERVER ボタンと RADIO ボタンを同時に数秒間押すことでセットされます。

●トリガー機能について

本機の 12VDC トリガー出力端子とパワーアンプのトリガー入力端子を接続すれば、本機の電源操作に連動してパワーアンプの電源 [スタンバイ] ⇄ [ON] をリモートコントロールすることが可能です。

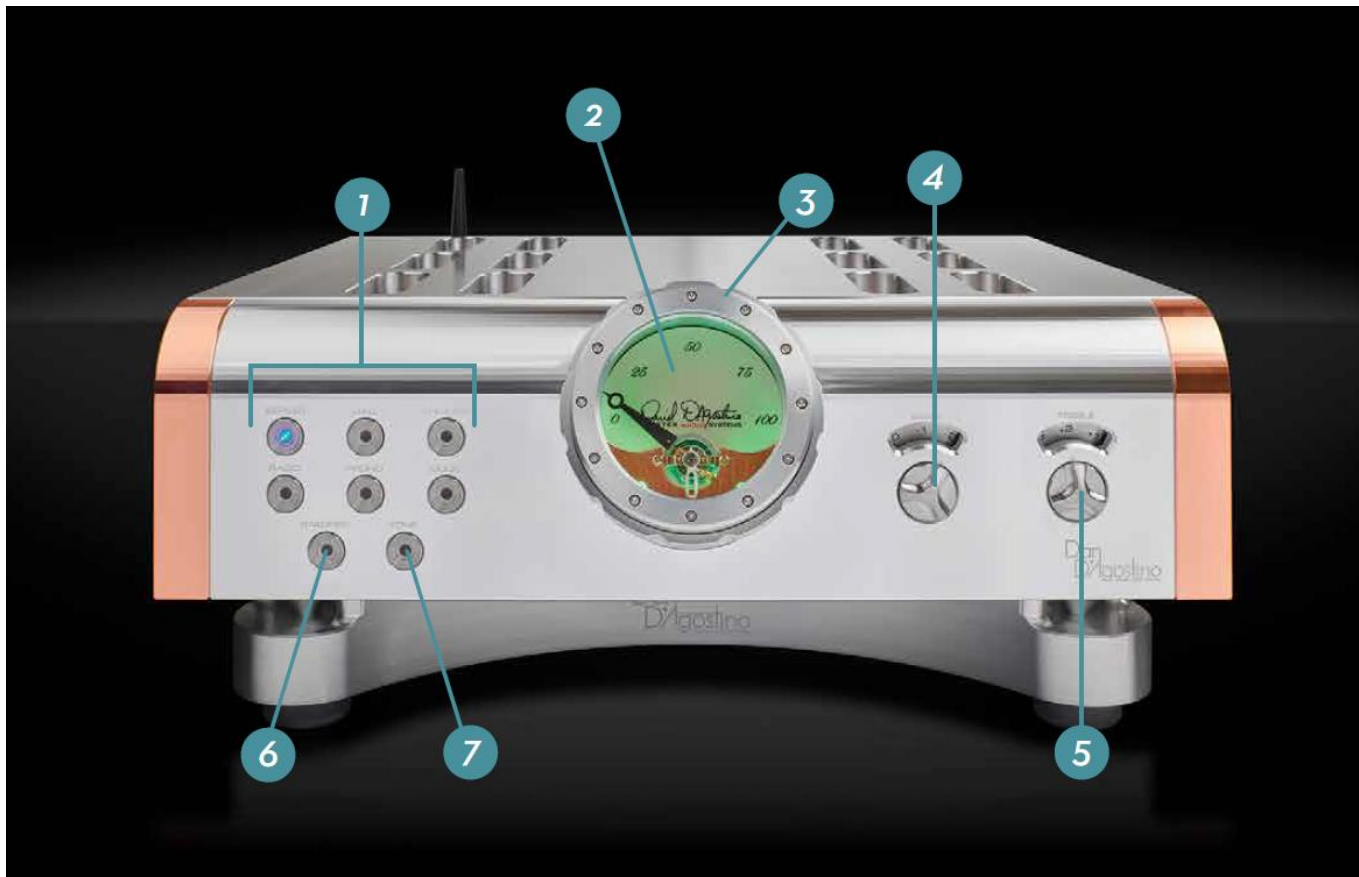
※接続は 3.5mm モノ・ミニプラグ付トリガーケーブルで行なってください。

※本機のトリガー機能の活用にあたってはあわせてご使用になる各機器の取扱説明書もご参照ください。

●RS-232 コントロール・コネクタ

DB9 タイプのホームコントローラーを使用する場合の端子です。詳細はコントローラーの説明書をご参照ください。

フロントパネル各部の機能



- ① 入力セクター: SERVER / DAC / THEATER / RADIO / PHONO / DOCK ※
- ② ボリュームレベル・メーター
- ③ ボリューム操作ノブ
- ④ トーンコントロール:低域
- ⑤ トーンコントロール:高域
- ⑥ 電源[スタンバイ] ⇄ [ON] 切替ボタン
- ⑦ トーンコントロール ON/OFF ボタン

※THEATER 以外の 5 系統はすべて同一のラインレベル入力です。

[THEATER] 入力はサラウンドプロセッサ専用です。

入力セクターで[THEATER]を選択すると本機の出カレベルは 0dB となり、ボリュームレベル・メーターの指針は約 75 の位置に固定され、ボリューム操作を受付けません。ボリュームはプロセッサ側で操作してください。

尚、THEATER 端子に接続したプロセッサのボリュームが過度に上がっているとこの入力に切り替えたとき過大音量が出て、アンプ、スピーカーに負担をかけることがありますので、ボリューム設定には十分ご注意ください。

また、[THEATER] 入力を選択した後、他の入力に切り替えるとそれまで設定していたボリュームレベルはリセットされ最小レベルに戻ります。



注意: [THEATER]端子には CD プレーヤーや DAC など固定出力レベルの機器は接続しないでください。
過大音量でスピーカーを損傷させる恐れがあります。

リモコン各部の機能



(左から右に、上列から下列の順に)

- ① 入力セレクター:SERVER
- ② バランスコントロール
- ③ 入力セレクター:RADIO
- ④ 入力セレクター:DAC
- ⑤ PHASE: 位相反転
- ⑥ 電源 [ON] ⇄ [OFF(スタンバイ)] 切替ボタン
- ⑦ トーンコントロール ON/OFF ボタン
- ⑧ 入力セレクター:PHONO
- ⑨ 入力セレクター:THEATER ※
- ⑩ ミュート
- ⑪ 入力セレクター:DOCK
- ⑫ ボリューム・ダウン
- ⑬ ボリューム・アップ

※[THEATER] 入力はサラウンドプロセッサー専用です。

入力セレクターで[THEATER]を選択すると本機の出カレベルは 0dB となり、ボリュームレベル・メーターの指針は約 75 の位置に固定され、ボリューム操作を受け付けません。ボリュームはプロセッサー側で操作してください。

尚、THEATER 端子に接続したプロセッサーのボリュームが過度に上がっているとこの入力に切り替えたとき過大音量が出て、アンプ、スピーカーに負担をかけることがありますので、ボリューム設定には十分ご注意ください。

また、[THEATER] 入力を選択した後、他の入力に切り替えるとそれまで設定していたボリュームレベルはリセットされ最小レベルに戻ります。

※リモコン内蔵の電池交換のしかた

本リモコンには予め単 4 乾電池 3 本が内蔵されています。リモコンの操作ができなくなったら、下記要領で電池を交換してください。

- 1) +ドライバーで、背面の 4 本のネジを外し、背面パネルを外す。
- 2) 古い電池を外し、新しい電池を装着する。(内部バッテリーホルダーの極性表示にしたがって、+/- をまちがえないように電池を装着します。)
- 3) 背面パネルを元通り取り付けます。

警告 安全に関するご注意

電池の使い方を間違えると発熱、液もれ、破裂などを引き起こし、機器の故障やけがなどの原因となりますので下記のことは必ず守ってください。

- 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。
- 電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師と相談してください。
- 分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
- +-を逆に入れしないでください。
- +-をショートさせたり、ネックレスなど金属製のものと一緒に携帯・保管しないでください。
- この電池は充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。
- 電池に直接はんだ付けしないでください。
- 電池そのものや電池を入れたリモコンの置き場所は直射日光・高温・高湿の場所を避けてください。電池には化学物質が入っているため、暑さや湿気は禁物です。特に高温・高湿、直射日光のあたる場所での保管はさげましょう。寿命が短くなるばかりか、破裂・液漏れをおこす恐れがあります。
- 電池のもれ液が目に入ったり皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがなどのおそれがあるので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。
- 長期間ご使用にならない場合はリモコンから電池を外してください。また、使い切った電池は、すぐに機器から取りだしてください。
- 電池の使用推奨期限:リモコンの働きが悪くなったりした場合や、また、通常は半年から一年を目安として交換されるようお勧めします。



注意: [THEATER]端子には CD プレーヤーや DAC など固定出力レベルの機器は接続しないでください。

過大音量でスピーカーを損傷させる恐れがあります。

操作のしかた

■主電源 ON/OFF

パワーサプライの後面中央に、主電源を ON/OFF するシーソー式スイッチがあります。

スイッチの下側を押すと本機に主電源が供給され、スタンバイ状態となります。

※スタンバイ状態ではフロントの STANDBY ボタンが**橙色**点灯します。

上側に押すと完全に AC 電源が遮断され、すべての操作ができません。

注意:主電源スイッチを操作する時は、パワーアンプの電源を切ってください。

■電源 ON/OFF(スタンバイ)

(主電源を ON にした後) **STANDBY ボタンを押すとスタンバイが解除され電源 ON となります。**

※ON 状態では、STANDBY ボタンは消灯し、セレクターボタンのいずれかと、ボリュームレベル・メーターが**緑**点灯します。

※ベストコンディションになるまでのウォームアップ所要時間は約 30 分です。

注意:本機の電源 ON/OFF(スタンバイ)操作をする際は、パワーアンプの電源を切ってください。

■入力の選択

接続した入力端子の名称の入力セレクターボタンを押して入力を選択します。

■ボリュームコントロール

ボリューム操作ノブ(ボリュームレベル・メーターの外周リング)または、リモコンのボリューム・アップ/ダウンボタンでボリュームレベルを調整します。設定レベルはボリュームレベル・メーターの指針で表示されます。(約 75 の位置で 0dB)

■トーンコントロール

トーンコントロールボタンを押すと BASS/TREBLE の表示窓が白色点灯します。必要に応じて各ノブを動かします。

本機のトーンコントロールは一般のものと異なり、超低域と超高域を調整します。小音量で聞く場合などのラウドネス的な使い方の他、微妙なトーンバランスの調整ご使用ください。

トーンコントロールを OFF にすると回路はバイパスされます。

■位相反転

リモコンの PHASE ボタンを押すと出力の位相が反転します。

※反転状態では、ボリュームレベル・メーターの照明が**ピンク**に変わります。

■ミュート

リモコンの MUTE ボタンを押すと音が消えます。

※ミュート状態では、ボリュームレベル・メーターの照明が点滅します。

■バランスコントロール

リモコンの BALANCE ボタンを押すとボリュームレベル・メーターの指針が中央に位置します。ボリューム操作ノブまたは、リモコンのボリューム・アップ/ダウンボタンが左/右のバランスレベル調整の役割を持ちますので必要に応じてコントロールします。調整したバランスの割合はボリュームレベル・メーターの指針位置で表示されます。

バランスをセンターに戻したいときは、BALANCE ボタンを数秒間長押ししてください。

カスタマイズ

■ボリュームレベル・メーターの照明を消灯するには

STANDBY 状態から ON にする際、STANDBY ボタンを長押し(5 秒程度)します。

通常時のようにセレクターボタンのいずれかとボリュームレベル・メーターが点灯した後、数秒後に全て消灯します。

※消灯状態での各ボタン操作時は、一時的に照明が復帰し、数秒後に消灯状態に戻ります。

※本設定は主電源を切らない限り継続されます。誤操作に注意してください。

■ボリュームレベル・メーターの照明を通常通り点灯させるには

一旦 STANDBY 状態とし、次に STANDBY ボタンを長押し(5 秒程度)します。

■ゲイン設定の切り替え

本機のゲインは、初期設定+13dB となっていますが、パワーアンプのゲインが小さい場合などに+19dB に増強することも可能です。

※本設定を行うときは必ずパワーアンプの電源を切ってください。

[+19dB に設定する方法]

(1)リアーパネルの主電源スイッチを切ります。(2)フロントパネルの電源[スタンバイ]ボタンと DAC ボタンを両方押したまま主電源を入れます。(3)フロントパネルの LED が点灯したのを確認してから手を放します。(4)あとは通常通りの操作を行いません。

[+13dB に戻す方法]

(1)リアーパネルの主電源スイッチを切ります。(2)フロントパネルの電源[スタンバイ]ボタンと SERVER ボタンを両方押したまま主電源を入れます。(3)フロントパネルの LED が点灯したのを確認してから手を放します。(4)あとは通常通りの操作を行いません。

お手入れのしかた

本機は埃などの少ない場所に設置していただくことが肝要ですが、表面に汚れなどが付いた場合は、付属のマイクロファイバー・クリーニングクロスで軽く拭き取ってください。本機の表面はクリア塗装が施されていますので、傷付き防止のため、硬い布などでこすらないでください。また、上面の放熱穴に埃が入り込んだ場合は、ホース先端に柔らかいブラシ付きの真空掃除機で吸い取るなどしてください。その際も、ブラシはこすらず、また、硬いブラシは使用しないようにしてください。

SPECIFICATIONS

- 周波数応答: 0.1 Hz to 1 MHz, -1 dB / 20Hz to 20 kHz, ± 0 dB
- 歪率(@最大出力): <0.006%, 20 Hz to 20 kHz
- S/N: -105 dB, unweighted
- ゲイン: +13 or +19 dB, switchable
- 入力インピーダンス: 1M Ω
- 出力インピーダンス: 10 Ω
- 入力端子: バランス XLR x6 系統
- 出力端子: バランス XLR x2 系統
- XLR 極性: 2=Hot, 3=Cold, 1=Ground
- 電源: 100VAC 50 / 60Hz
- 消費電力: 25W (スタンバイ時 1W 未満)
- 最大外形寸法: 432W x 200H x 450D
- 重量: 32kg
- 付属品: リモコン(単 4 乾電池 3 本内蔵)
- 外装フィニッシュ: シルバー or ブラック

※改良のため仕様は予告なく変更することがあります。

保証

本機の保証はアクシス株式会社が行ないます。

保証登録カードに必要事項をご記入の上、ご購入後 10 日以内に下記宛にご返送ください。

折り返し、保証書をお送りいたします。

無償保証期間は 2 年間です。保証についての詳細は、保証書をご覧ください。

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-34-27

アクシス株式会社 TEL 03-5410-0071 / FAX 03-5410-0622

AXISS

輸入発売元: アクシス株式会社 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-34-27 TEL:03-5410-0071 / FAX:03-5410-0622
E-Mail: post@axiss.co.jp Web: www.axiss.co.jp